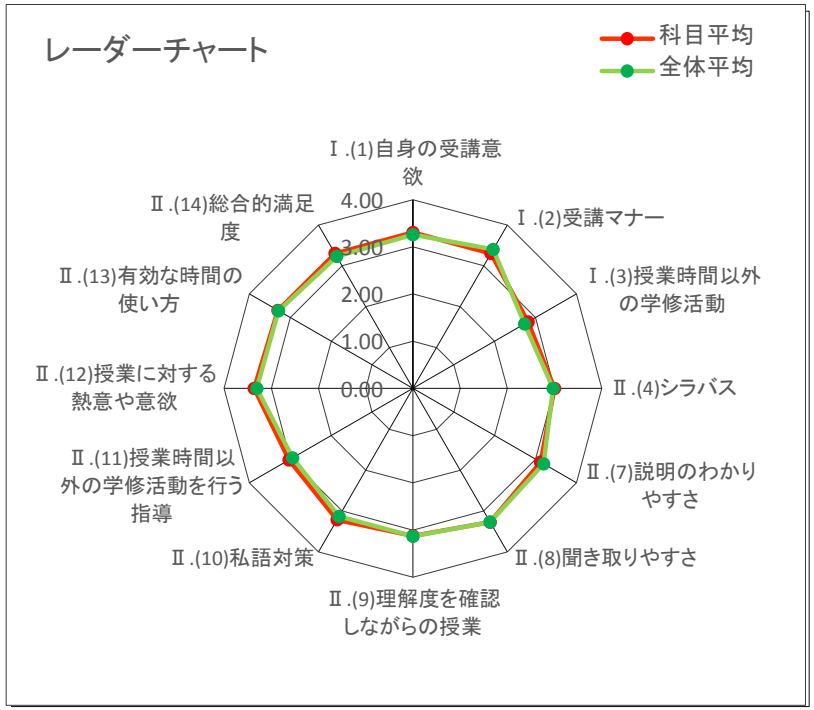
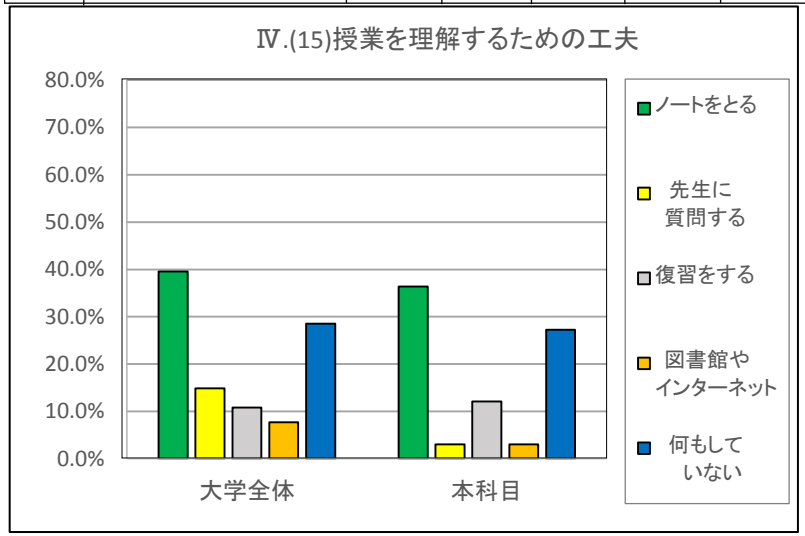
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.30	3.26
	Ⅰ.(2)	3.30	3.40
	Ⅰ.(3)	2.82	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.00	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.12	3.20
	Ⅱ.(8)	3.27	3.27
	Ⅱ.(9)	3.12	3.13
	Ⅱ.(10)	3.21	3.13
	Ⅱ.(11)	3.03	2.94
	Ⅱ.(12)	3.36	3.31
	Ⅱ.(13)	3.30	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.30	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	36.4%	3.0%	12.1%	3.0%	27.3%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.14	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.18	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.30	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	42306
科目名	スポーツ経営学
教員名	

①授業計画の達成度について

スポーツ経営学の基本的内容は講義出来た。
P･ドラッガーの経営学をヒントに「女子高校生が高校野球のマネジメントを考える」の題材が興味を持たせるきっかけとなり公欠以外の欠席は少なく、多くの学生が目標としたレベルのレポートを提出した。レポート課題へ取り組み水準の個人差は大きく、残念ながら自分の意見・考察が少なく、受講生約50人中、再提出させた学生が、二桁近くいた。

②授業の進め方について

最初約30分間（もしドラ）ビデオをみて、経営学のキーワードと野球に関わる興味のある知識を記録させた。出来るだけビデオで登場するキーワードに関連した講義内容とするように努力したが、基本的な概念からの積み上げが必要となるので、毎時間の一致は出来なかった。「オリンピック招致のプレゼンの総集編」の教材は、この授業に意味あるものと受講生も高く評価し議論を深めた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

つぎの評価観点を明示していた。Ⅰキーワードの記録と疑問質問を複数回提出させた。Ⅱ「オリンピック招致成功のプレゼン」成功の要因分析と自分の意見。Ⅲ「映画版、もしドラ」の経営学のキーワードまとめ意見、Ⅳ課題レポート提出させ評価した。一つの完成した形が出来ている。自ら取り組む課題充実のヒントを改善していきたい。最終のレポートへの取り組みに個人差が大きく、コピペを許さず、さらに内容あるものに改善したい。

奈良学園大学